



ふるさとチョイスアワード

ふるさと納税総合サイト「ふるさとチョイス」を企画運営する(株)トラストバンク（川村憲一代表取締役）が主催する「ふるさとチョイスアワード 2022」が開催され、審査の結果境町が「未来につながるまちづくり部門」、「チョイス事業者部門」の2部門で大賞



チョイス事業者部門 大賞受賞

株式会社さかいまちづくり公社 代表取締役 野口富太郎

この度は「チョイス事業者部門」の大賞をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。地域商社として、道の駅さかいの運営やふるさと納税事業、そして干しいもやワイン造りなどの製造業の出口戦略の取組みを全国に横展開することが大賞受賞となりました。新たな特産品の研究や雇用の創出により地域がどんどん活気づいていく様子を日々実感しております。これもふるさと納税制度を利用して寄付していただき、応援してくださる寄付者の皆様のおかげです。今後もふるさと納税制度を活用して、地域活性化へつなげる「境町モデル」を全国へ広げていけるよう尽力してまいります。

furusatotax
取組み例

ふるさと納税をフル活用し雇用創出！

PICK UP



一自治体一地域商社設立を目指す

境町とともに成長を続ける地域商社「さかいまちづくり公社」のふるさと納税への関わりと一自治体一地域商社を創出することによる地域活性化を目指し、境町モデルを全国へ拡大

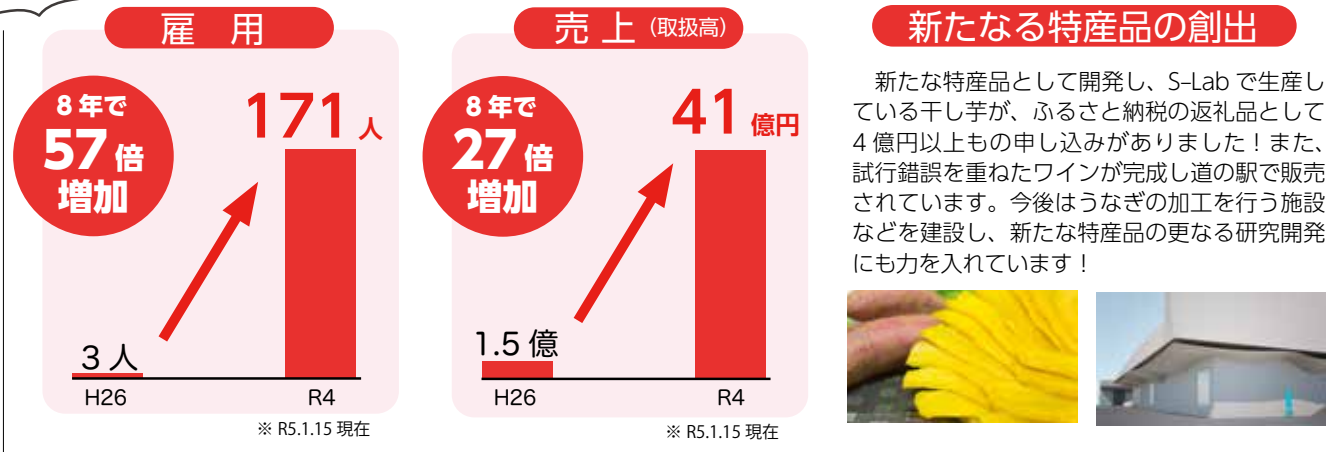
さかいまちづくり公社の挑戦

境町観光協会から6年前に独立したのが、株式会社さかいまちづくり公社です。ふるさと納税のノウハウと道の駅のノウハウの両輪を活かし、地域商社として産声をあげました。ふるさと納税に関する企画・運営を主体に、道の駅の運営、境町の小麦粉を使ったサンドイッチ店やベーカリー店などの物販・飲食事業、ワインや干しいもなどの製造業、着地型観光を目指したさかいまちツアーズなどで地域活性化に取り組んできました。

地方が良くなるためには、このふるさと納税をフル活用したまちづくりが重要で、自治体、地域商社、事業者が共に地域を盛り上げること、そして新たな産業を生み出すことが課題になっています。

昨年4月に一自治体一地域商社を目指し、一般社団法人全国地域ビジネス協会を設立しました。地方でこれから地域商社を運営したい方や道の駅のノウハウを学びたい方などのための学び舎です。全国の自治体や住民が、自分たちの地域をどう活性化させるかは、ふるさと納税制度をどう活かせるか、そして丸投げでなく自分たちで行動することが鍵であることを伝え、この境町モデルを全国に拡大していければと思います。

ここがポイント！



新たに雇用された従業員の方 VOICE

境町がメディアに注目され、道の駅の売上高、ふるさと納税にも貢献できて、やりがいを感じます。



新しいことにチャレンジできる環境です。キャリアアップも積極的に行っており、私もアルバイトから社員になりました。



私達が作った干しいもを、境町の返礼品として多くの方が召し上がってくださり、それが仕事のやりがいとなっています。



で境町の取組みが史上初 W 受賞

に選ばれました。今回のふるさとチョイスアワード 2022 では、4部門合計で 104 自治体 132 事例もの応募がありました。当アワード史上初の、1つの自治体が2部門で大賞受賞となりました。

未来につながるまちづくり部門 大賞受賞

境町役場 地方創生課 藤井裕紀

この度は、全国 132 の事例からノミネートされ、自動運転バスの取組みが「未来につながるまちづくり部門」で大賞を受賞できましたこと、大変光栄に存じます。「誰もが生活の足に困らない町」を目指し、2020 年から運行を開始した自動運転バスも、2 年が経過いたしました。境町の取組みが全国へ横展開され、今年度中には、北海道土幌町と愛知県日進市が自動運転バスの定常運行を開始予定となっているなど、境町がチャレンジしたことにより、全国自治体の導入へのハードルが下がって来ております。今後も、境町のみならず日本の自動運転のチャレンジと思い、ルートの拡充など、「横に動くエレベーター」として利便性向上を図ってまいります。



furusatotax
活用例

ふるさと納税を活用し自動運転バス定常運行

PICK UP



誰もが生活の足に困らない町へ

行政だけでなく、住民の理解・協力・ふるさと納税寄付者の応援によって実現した取組み
境町の横に動くエレベーターとして自動運転バスを育て全国に横展開できる近未来モデルへ

境町には鉄道も循環バスもない！ 自動運転バスで新たな足を！

町には鉄道駅や循環バスがなく、路線バスの本数も少ないことから、高齢者が免許返納したくてもできない環境のため、公共交通の充実が課題でした。

2020 年 11 月、全国自治体初となる公道での自動運転バスの定常運行を開始し、2021 年 8 月には走行経路を当初の 4 倍の約 20 キロメートルに拡大するなど「横に動くエレベーター」として利便性の向上に努め、これまで目立ったトラブルや事故もなく順調に運行を継続しています。



第1回の「クルマ・社会・パートナーシップ大賞」で大賞を受賞しました。広報さかい NO.646 で特撮

利用者からは喜びの声が！境町のチャレンジは日本の自動運転の未来へのチャレンジ

利用された町民の皆さん、特に高齢者の方からは、「これで免許を返納しても生活できる見通しがついた」「買い物に行けるようになった」などの前向きな意見を多数いただきました。また、子育て支援施設の利用者など、定期的に利用する方が増加しているだけでなく、町外の方の観光利用や、全国の自治体や大学・民間団体等からの視察も相次ぎ、運行開始から約 1 年半が経過した 2022 年 7 月 19 日には、乗車人数 1 万人を達成しました。

境町のチャレンジは、日本の将来に対するチャレンジであり、どこの地方自治体にもある課題解決のための挑戦だと思っています。今後も、町民が安心して住み続けられる、「誰もが生活の足に困らない町」を目指します。

ここがポイント！

累積乗車人数	12,570 人
視察件数	212 団体
視察乗車人数	1,023 人 (令和 4 年 11 月 26 日現在)

境町の運行実績により法改正へ

- 保安要員を撤廃
- 自動運転の免許取得が、都道府県別から**全国共通に変更**
- 令和 4 年度中に**完全無人化**へ法改正（予定）

寄付者からの応援メッセージ

交通弱者を生まないための新しい形として、研究頑張ってください。



自動運転の先行自治体として、これから着手する全国の自治体さんのお手本になって下さい。応援します。

